

- ▶ 松山市では、手入れが行き届いていない人工林への対応として、森林経営管理制度に基づく取組を進めている。
- ▶ 令和2年度は、以下の取組を実施した。
 - ・市内の私有林374haで意向調査を行い（約6割の森林所有者から回答あり）、森林整備箇所の把握を行った。
 - ・令和元年度に意向調査を実施したエリアにある林道や作業道の草刈りや補修等を行い、森林整備に向けた環境を整えた。
 - ・森林の持つ多面的機能をより高度に発揮させるため、手入れされていないスギやヒノキ約26haの間伐を行った。
 - ・森林経営管理制度を推進するため、松山市、東温市、伊予市、砥部町が連携し中予森林管理推進センターを設立した。

□ 事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

- ・市内の私有林人工林374ha（662筆、219人分）の森林所有者に対し、今後の経営管理の意向を調査。

【事業費】4,567千円（全額譲与税）

【実績】意向調査面積 374ha

2 林道等補修業務の実施

- ・意向調査実施エリアにある林道等（5,000m）の草刈りや補修等を実施。

【事業費】2,750千円（全額譲与税）

【実績】実施延長 5,000m

3 環境林整備事業の実施

- ・森林の持つ多面的機能をより高度に発揮させるため、手入れされていない人工林の間伐を実施。

【事業費】10,780千円（全額譲与税）

【実績】間伐面積 26ha

4 中予森林管理推進センターの設立

- ・森林経営管理制度を円滑に推進させるため、周辺市町や森林組合が連携し、令和2年8月に「中予森林管理推進センター」を設立した。

【事業費】7,099千円（全額譲与税）



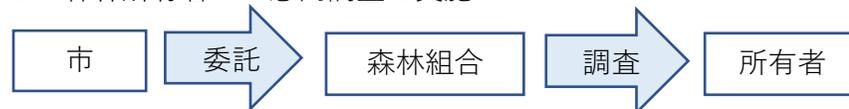
（事業2：林道補修の様子）



（事業4：開所式の様子）

□ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査の実施



2, 3 林道等補修業務、環境林整備事業の実施



□ 工夫・留意した点

- ・1は、回答率の向上のため、地元説明会の開催のほか、地元の区長などとも協力し、意向調査未回答者への電話や訪問を行った。
- ・2は、今後の森林整備が安全かつ円滑に行えるよう、前年度に意向調査を実施したエリアにある林道等の整備を行った。

□ 基礎データ

①令和2年度譲与額	73,870千円
②私有林人工林面積（※1）	7,864ha
③林野率（※2）	44%
④人口（※3）	514,865人
⑤林業就業者数（※4）	168人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より